

駿河湾・海洋 DX 先端拠点化計画 関連研究

(予算区分 外部資金 研究期間 2025 年度～)
担当：水産・海洋技術研究所 資源海洋科 門奈憲弘

【研究の背景とねらい】

- ・ 駿河湾、清水港を活かした海洋研究・産業の拠点形成を加速させるため、静岡市、静岡県、関係大学、企業等が推進体制を構築し、連携して取り組んでいます。
- ・ 駿河湾を対象とし海洋に関する多様な社会課題をデータ分析によって解決する「マリインフォマティクス」研究に取り組めます。
- ・ また、県内外の大学、研究機関等との協働により、サクラエビ等の資源の持続的利用や漁業の効率性向上に資する海洋 DX 技術や漁業・養殖業等の高度化、関連する海洋観測機器等の開発に取り組めます。

【取り組んでいる研究課題】

- 1 音響データによるサクラエビ資源量推定手法の開発
サクラエビ資源を将来にわたって持続的に利用するためには、資源量やその動態をより正確に把握することが必要不可欠です。本研究では、計量魚群探知機により取得したサクラエビ群の音響データを解析し、漁期前の資源量を推定するための手法を開発します。
(研究機関：東京海洋大学、資源海洋科、研究期間：2025～2028)

(作成 2025 年 4 月)